



第96期 事業報告書

(平成16年4月1日 ▶ 平成17年3月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。

ここに第96期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧戴きますようお願い申し上げます。

営業の概況につきましては、以下にご報告申し上げます通りであります。

企業間格差が広がる中で、当社は静岡県掛川市に光学用保護フィルムの製造工場を建設し、秋口には本格稼働する予定で生産能力の拡大を図り、市場の需要に対応してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成17年6月
代表取締役社長 山田 次夫

1. 当期の概況

当期におけるわが国経済は、前半は米国や中国などへの好調な輸出に支えられて企業収益の改善が見られ、設備投資の増加や雇用情勢の改善と共にデジタル家電需要に代表される底堅い個人消費等により、景気は比較的順調に推移いたしました。しかし、後半は原油価格や素材価格の高騰により企業収益が圧迫され、個人消費も若干かげりが見られる等景気は踊り場局面を迎え、企業の景況感は弱含みで推移しております。

このような状況において当業界は、原油価格の高騰に起因する原材料の値上げの影響をまともに受けて、原料高・製品安の中で厳しい企業間競争が展開されて、業種・分野により明暗が分かれました。

当社におきましては、機能性材料を中心とした高品質、高機能の製品開発と新規需要の開拓を進め、全力をあげて収益性の向上に努めてまいりました。

その結果、当期における単体ベースの業績は、売上高271億45百万円（前期比4.2%増）、経常利益14億12百万円（前期比13.8%増）、当期純利益は8億34百万円（前期比14.0%増）となりました。

また、連結ベースでは売上高303億29百万円（前期比2.5%増）、経常利益14億44百万円（前期比9.3%増）、当期純利益8億71百万円（前期比9.1%増）となりました。

次に当期の単体における部門別の売上高と営業概況についてご報告いたします。

部門別売上高	売上高	構成比	前期比
軽包装部門	10,842百万円	39.9%	100.9%
産業資材部門	7,469百万円	27.5%	94.6%
機能性材料部門	8,028百万円	29.6%	120.0%
その他	804百万円	3.0%	113.7%
合計	27,145百万円	100.0%	104.2%

2. 部門別営業の概況

当期の単体における部門別営業の概況につきましては、次の通りであります。

（軽包装部門）

軽包装部門におきましては、景気の先行き不透明

を背景とした個人消費の低迷が続く中で、原油価格の高騰から原料高・製品安となり市況は一層厳しい状況になりました。このような状況の中にあつて、電子レンジ対応袋「レンジDo!」、飲料用袋「ソフトパウチ」は順調に推移することができました。また拡販を続けているエア緩衝材「エアロテクト」は前年対比倍増と伸長しており、食品用包材ではイージーオープンフィルム「B-PET蓋材」が新規採用されました。「ソフトパウチ」も含め今後の数量、売上げ増へと展開してまいります。

その結果、数量では前期比2.1%減、売上高は108億42百万円で前期比0.9%増となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門におきましては、顧客の生産拠点の海外移転、海外の廉価品の増大等、価格および利益の圧迫要因が相変わらず続いていることに加え、原油価格の高騰に起因する原材料の価格値上げに苦慮いたしました。生産の合理化および販売価格への転嫁に努力いたしましたが、原材料値上げ分の吸収にはいたりませんでした。

しかしながら、両面テープ用剥離紙の拡販、顧客との共同による特殊剥離紙の開発等、利益商品の増販に活路を見出しつつあり今後に期待しております。また、ノンソルベントタイプ剥離紙の拡販による環境問題の対応を進めると共に、袋井・奈良・野木(東邦樹脂工業株)の3工場連携のもとに、効率生産を目指した体制を構築しつつあります。

その結果、数量では前期比8.1%減、売上高は74億69百万円で前期比5.4%減となりました。

(機能性材料部門)

機能性材料部門におきましては、前期末より続いてきました旺盛な需要が一段落し、特に下半期は偏光板材料の不足から量的にも横這いの傾向で推移いたしました。

さらに原油価格の高騰の影響は大きく、樹脂原料のみでなく、溶剤から粘着剤に至るまで大幅な原材料の価格値上げに苦慮いたしました。その中でPETマスキングフィルムが後半の需要増に支えられ、業績に大きく寄与いたしました。

このような状況の中で掛川新工場の建設に着手し、さらなる飛躍の第一歩を踏み出しました。

その結果、数量では前期比15.7%増、売上高は80億28百万円で前期比20.0%増となりました。

3. 今後の見通し

当社を取り巻く環境は、国内外景気とも回復基調の傾向にありますが、今後の原油価格の動向等景気回復に影響を及ぼす不確定要素も多く、楽観視はできない状況にあります。

このような環境下にあつて、当社では企業体質の改善、収益構造の安定、強化を図り引き続き部門ごとに特徴のある事業戦略を展開してまいります。

軽包装部門では従来の特化した製品に加え、エア緩衝材「エアロテクト」等の拡販に努め、また生産部門の統廃合を推進して合理化を進めてまいります。

産業資材部門では事業の効率化と環境対応を主眼に取り組んでまいります。

具体的には袋井・奈良・野木(東邦樹脂工業株)の3工場の有機的連携、得意品種の集中生産・相互融通による生産の効率化、技術レベルの均質化を図ります。

また、利益商品の育成と増販を推進し、両面テープ用基材のさらなる展開、特殊商品の開発等を実施してまいります。

機能性材料部門では、来期には国内外のさらなる受注増加が予想されますので、掛川工場の建設は上期完成を目指し、期の後半には戦力化いたします。また、効果を最大限に発揮させるべくクリーンプロテクトフィルムの確立と顧客との連携を心掛け、高品質な製品を供給し続けてまいります。

これにより、通期の見通しにつきましては、単体ベースでは、売上高296億00百万円(前期比9.0%増)、経常利益15億90百万円(前期比12.6%増)、当期純利益9億54百万円(前期比14.4%増)が予想されます。

また、連結ベースでは、売上高330億00百万円(前期比8.8%増)、経常利益16億00百万円(前期比10.8%増)、当期純利益9億60百万円(前期比10.2%増)を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成17年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	6,378,153	4,602,028
受取手形及び売掛金	10,003,651	10,210,269
たな卸資産	3,780,632	3,192,236
その他	280,665	281,113
貸倒引当金	△25,598	△40,106
流動資産合計	20,417,505	18,245,542
建物及び構築物	2,067,820	1,911,577
機械装置及び運搬具	3,220,946	3,379,482
土地	1,682,614	801,614
その他	1,807,874	450,704
有形固定資産合計	8,779,255	6,543,379
無形固定資産合計	32,998	19,961
投資有価証券	3,246,382	3,183,316
長期貸付金	15,502	24,371
その他	358,767	357,045
貸倒引当金	△47,804	△10,583
投資その他の資産合計	3,572,847	3,554,148
固定資産合計	12,385,102	10,117,490
資産合計	32,802,608	28,363,033

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成17年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
負債の部		
支払手形及び買掛金	6,501,892	5,909,791
短期借入金	3,651,000	3,401,000
未払金	788,812	518,590
未払法人税等	242,368	451,793
賞与引当金	418,201	430,774
その他	1,609,016	1,050,184
流動負債合計	13,211,292	11,762,135
社債	510,000	290,000
長期借入金	2,007,702	1,027,796
退職給付引当金	985,322	1,086,282
役員退職慰労引当金	161,020	213,440
連結調整勘定	31,298	93,896
その他	180,234	134,363
固定負債合計	3,875,577	2,845,778
負債合計	17,086,870	14,607,914
少数株主持分	114,999	118,641
資本の部		
資本金	2,176,000	1,599,000
資本剰余金	2,135,839	1,522,559
利益剰余金	10,611,298	9,917,445
その他有価証券評価差額金	682,202	649,607
自己株式	△4,601	△52,135
資本合計	15,600,738	13,636,477
負債、少数株主持分及び資本合計	32,802,608	28,363,033

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	30,329,086	29,583,317
売上原価	25,949,038	25,322,508
売上総利益	4,380,048	4,260,809
販売費及び一般管理費	2,998,823	3,001,337
営業利益	1,381,224	1,259,471
営業外収益	171,903	146,465
受取利息	3,285	3,347
受取配当金	37,819	48,444
連結調整勘定償却額	62,597	62,597
その他	68,201	32,075
営業外費用	108,781	83,897
支払利息	64,981	62,239
その他	43,799	21,657
経常利益	1,444,346	1,322,040
特別利益	23,143	26,260
貸倒引当金戻入益	—	26,260
投資有価証券売却益	17,593	—
その他	5,550	—
特別損失	41,385	34,405
固定資産除却損	27,902	26,255
その他	13,483	8,150
税金等調整前当期純利益	1,426,104	1,313,894
法人税、住民税及び事業税	484,265	621,000
法人税等調整額	71,939	△108,019
少数株主利益(控除)	—	2,028
少数株主損失(加算)	1,314	—
当期純利益	871,212	798,885

連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,522,559	1,522,559
資本剰余金増加高	613,280	—
増資による新株の発行	576,000	—
自己株式処分差益	37,280	—
資本剰余金期末残高	2,135,839	1,522,559
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	9,917,445	9,299,758
利益剰余金増加高	871,212	798,885
当期純利益	871,212	798,885
利益剰余金減少高	177,360	181,198
配当金	143,320	143,798
役員賞与	34,040	37,400
利益剰余金期末残高	10,611,298	9,917,445

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,840,119	2,018,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,881,707	△1,232,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,817,713	60,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	1,776,125	846,764
現金及び現金同等物の期首残高	4,602,622	3,755,857
現金及び現金同等物の期末残高	6,378,747	4,602,622

単体財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成17年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	6,057,155	4,353,897
受取手形	3,537,117	4,070,208
売掛金	5,581,272	5,226,344
たな卸資産	3,454,839	2,878,189
その他	232,297	245,002
貸倒引当金	△22,835	△37,284
流動資産合計	18,839,846	16,736,359
建物	1,710,740	1,572,588
機械装置	2,734,525	2,896,836
土地	1,232,049	351,049
その他	1,931,138	583,504
有形固定資産合計	7,608,454	5,403,980
無形固定資産合計	14,497	17,794
投資有価証券	3,154,258	3,064,602
関係会社株式	652,500	652,500
その他	342,321	348,289
貸倒引当金	△47,789	△10,582
投資その他の資産合計	4,101,289	4,054,811
固定資産合計	11,724,241	9,476,586
資産合計	30,564,087	26,212,945

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成17年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
負債の部		
支払手形	3,674,635	3,358,134
買掛金	2,308,114	2,068,600
短期借入金	3,101,000	3,101,000
未払金	736,278	482,259
未払法人税等	241,946	447,808
賞与引当金	375,000	370,000
その他	1,496,628	812,691
流動負債合計	11,933,604	10,640,497
社債	510,000	290,000
長期借入金	1,783,702	789,796
退職給付引当金	825,827	918,547
役員退職慰労引当金	135,530	182,140
その他	148,387	99,367
固定負債合計	3,403,447	2,279,851
負債合計	15,337,051	12,920,348
資本の部		
資本金	2,176,000	1,599,000
資本剰余金	2,135,839	1,522,559
利益剰余金	10,239,660	9,577,137
その他有価証券評価差額金	680,137	646,034
自己株式	△4,601	△52,135
資本合計	15,227,036	13,292,596
負債、資本合計	30,564,087	26,212,945

損益計算書

(単位：千円)

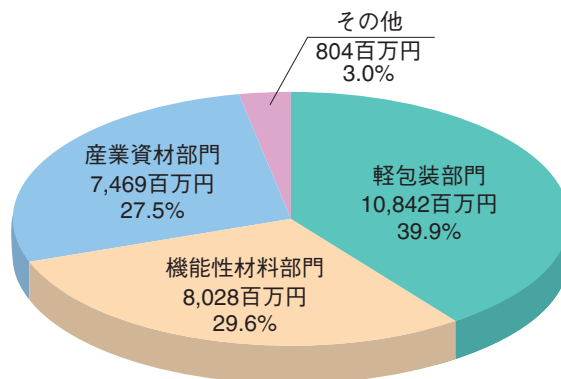
科目	当期	前期
	(平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	27,145,312	26,042,006
売上原価	23,134,793	22,196,231
売上総利益	4,010,518	3,845,775
販売費及び一般管理費	2,624,682	2,624,191
営業利益	1,385,836	1,221,583
営業外収益	118,518	95,882
受取利息	1,197	1,441
受取配当金	51,654	62,814
その他	65,666	31,626
営業外費用	92,049	76,023
支払利息	53,639	51,454
売上割引	6,967	6,107
その他	31,442	18,460
経常利益	1,412,305	1,241,442
特別利益	5,550	26,260
貸倒引当金戻入益	—	26,260
その他	5,550	—
特別損失	36,542	33,863
固定資産除去損	27,092	25,713
その他	9,450	8,150
税引前当期純利益	1,381,312	1,233,839
法人税、住民税及び事業税	481,000	601,000
法人税等調整額	65,469	△99,589
当期純利益	834,843	732,429
前期繰越利益	250,481	190,411
中間配当額	71,647	71,687
当期末処分利益	1,013,677	851,153

利益処分

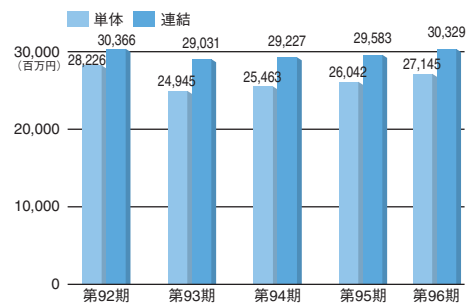
(単位：千円)

科目	当期	前期
当期末処分利益	1,013,677	851,153
これを次の通り処分いたします。		
株主配当金	79,193	71,672
役員賞与金	28,000	29,000
(うち監査役)	(2,400)	(2,400)
別途積立金	600,000	500,000
次期繰越利益	306,484	250,481

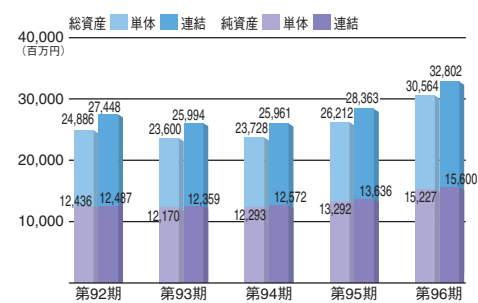
部門別売上構成比（単体）



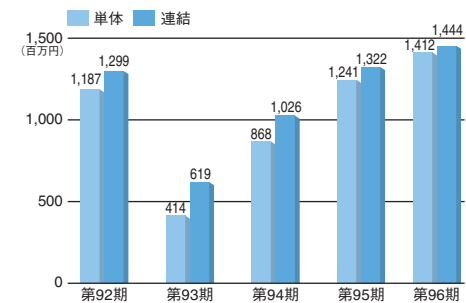
●売上高



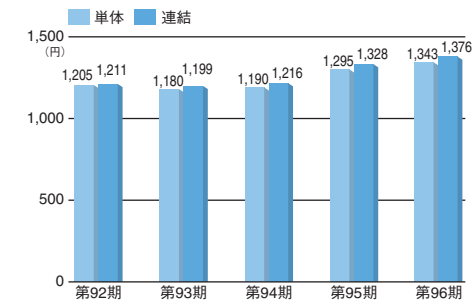
●総資産・純資産



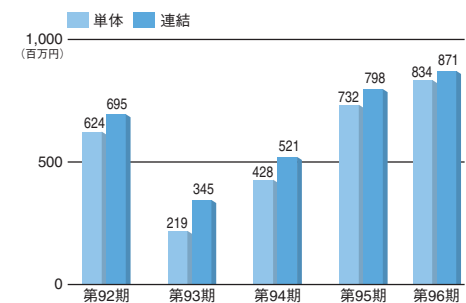
●経常利益



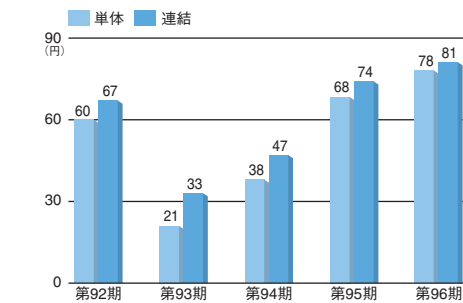
●1株当たり純資産額



●当期純利益



●1株当たり当期純利益



Topics

掛川新工場建設

当社の光学用保護フィルムは、運搬時や生産工程中ホコリや異物の付着防止、さらに傷などから部材を保護する目的で多岐にわたり使用され、液晶パネルディスプレイの大型化及び市場の拡大に伴ない現状の設備では、すでにフル生産の状況にあります。

こうした中で、昨年10月に静岡県掛川市の工業団地を購入し、より一層高品質でクリーンな光学用保護フィルムの製造工場を建設し、今年7月には一部完成、秋口には本格的に稼動する予定です。

生産能力の拡大を図り、顧客との連携を心掛け市場の需要に対応してまいります。



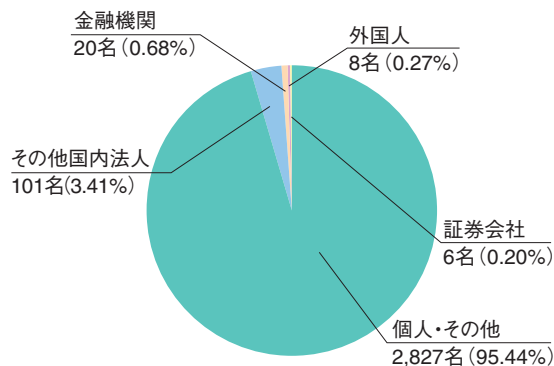
■株式の状況

- 会社が発行する株式の総数……………24,000,000株
- 発行済株式の総数……………11,320,000株
- 株主数 ……………2,962名

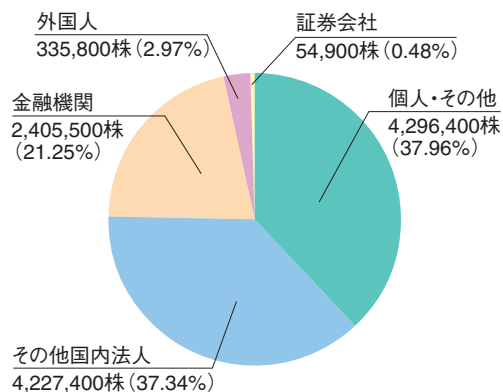
■大株主の状況

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社岡本	1,807	15.98
昭和パックス株式会社	1,244	11.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	518	4.58
サンエー化研社員持株会	373	3.30
みずほ信託退職給付信託昭和パックス口 再信託受託者資産管理サービス信託	300	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口昭和パックス株式会社口)	300	2.65
プラネット株式会社	227	2.01
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	224	1.98
株式会社東京三菱銀行	200	1.77
株式会社みずほ銀行	200	1.77

■所有者別株主数



■所有者別株式数

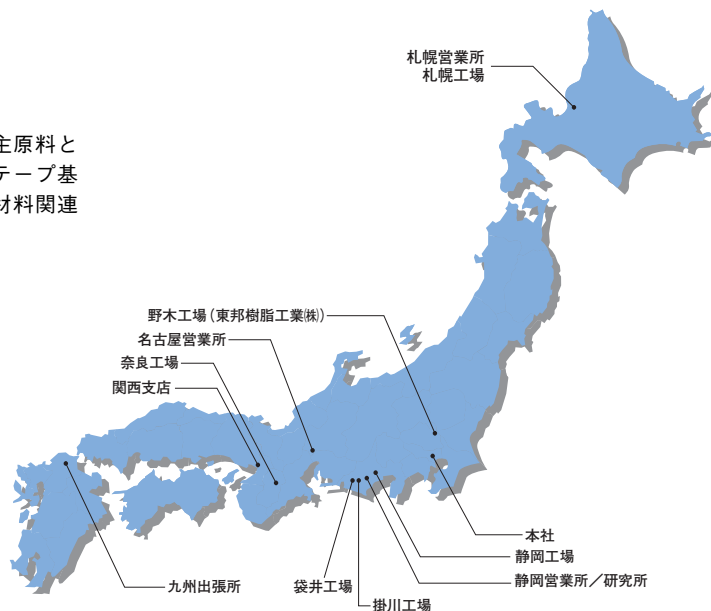


■概要 (平成17年3月31日現在)

商号 株式会社サンエー化研
本社所在地 東京都千代田区神田淡路町2-23-1
設立 昭和17年9月
資本金 21億76百万円
従業員数 476名
主な事業内容 紙、プラスチック、金属箔等を主原料として軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護フィルム等、包装材料関連製品の製造と販売

■役員 (平成17年6月28日現在)

代表取締役社長	山田 次夫
専務取締役	家島 裕嵩
常務取締役	角田 幸保
常務取締役	葛野 正
取締役	林 喜久雄
取締役	武智 利文
常勤監査役	宮城 康郎
監査役	渡邊 薫
監査役	岡本 知久



当社ホームページのご紹介

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報ははじめ、業務内容や最新の企業情報、新開発製品などについてお知らせするホームページを開設しています。

また、今期より日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページによることとさせていただきます。是非、ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.sun-a-kaken.co.jp>



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
配当金支払い株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
基準日	3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号(〒100-8212) 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号(〒171-8508)
電話お問い合わせ先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696(フリーダイヤル) 自動音声応答サービス 0120-86-4490 〔住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。〕
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
単元未満株式買取り請求所	名義書換代理人の事務取扱所および同取次所

株式会社 サンエー化研 Sun A. Kaken Company, Limited.

東京都千代田区神田淡路町2-23-1
TEL.03-3258-3110 FAX.03-3258-3102

<http://www.sun-a-kaken.co.jp>